

ゆうばり 市議会だより



25周年を迎えた石炭の歴史村 4月29日オープン

NO. 48

平成17年5月1日発行

発行 / 夕張市議会

編集 / 議会運営委員会

TEL(0123)52-3172(直通)

FAX(0123)52-2228

第1回定例会.....	2
大綱質問	4
予算審査特別委員会	3
常任委員会の活動状況.....	7
特別委員会の活動状況.....	9
議会日誌	10
編集後記	10

第1回 定例会

平成17年3月7日[月]～31日[木]

平成十七年度各会計予算可決

平成十七年第一回定例市議会は、三月七日に招集され、三十一日までの二十五日間の会期で開かれました。

平成十七年度の予算を決めるこの議会は、市長の市政執行方針及び教育長の教育行政執行方針（全文は四月一日号の広報ゆうばりに掲載）が示され、続いて一般会計及び特別会計予算関係議案の提案説明があり、これらに対する大綱

質問が行われた後、議長を除く議員全員による予算審査特別委員会へ付託し、十分な審査が尽くされ本会議最終日において全議案を原案どおり可決しました。

また、平成十七年度予算に先立って、平成十六年度各会計の補正予算及び関係議案等が上程され、三日目の本会議においていずれも原案どおり可決しました。

主な審議案件

平成十七年度各会計予算が決まりました

一般会計

国民健康保険事業会計
一四億四、二五四万円

市場事業会計
二億一、二九七万円

老人保健医療事業会計
一億〇、四二八万円

公共下水道事業会計
三〇億四、七二〇万円

二四億三、〇〇三万円

宅地造成事業会計

三億二、八五一万円

観光事業会計

九四億八、九九六万円

住宅管理事業会計

九億一、〇七七万円

介護保険事業会計

二億二、五二六万円

水道事業会計

七億八、二三〇万円

病院事業会計

二億九、七八五万円

額は二万円未満切り捨て

平成十六年度各会計予算を追加補正しました

補正額については別表一（ア）を参照下さい。

非常勤の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

行財政正常化対策の一環として教育委員の報酬を改めるほか、規定の整理を行うため、条例の一部改正をしました。

夕張市税条例の一部改正について

不動産登記法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の

施行に伴い、文言の整理を行うため、条例の一部改正をしました。

手数料条例の一部改正について

地方公共団体の手数料の標準に関する政令等の一部改正に伴い、新たに浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所の審査手数料を定めるため、条例の一部改正をしました。

夕張市農業委員会委員及び職員定数条例の一部改正について

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の定数を改めるため、条例の一部改正をしました。



【別表1】平成17年第1回定例会で議決した補正予算(平成16年度分)

会 計	(ア)補正した額	(イ)専決処分した額	予 算 総 額	主な補正予算内容
一 般 会 計	7億8,085万1千円	3億2,904万8千円	130億2,335万9千円	除雪費、公債費、償還金等
国民健康保健事業会計	8,485万2千円		29億2,633万4千円	一般被保険者療養給付費等
老人保健医療事業会計	294万7千円		36億5,250万1千円	人件費(職員手当等)
観 光 事 業 会 計	730万1千円		108億5,735万 円	観光施設管理委託料
住宅管理事業会計	345万7千円		9億5,515万 円	人件費(職員手当等)
介護保険事業会計	1,455万4千円		12億9,732万8千円	居宅介護サービス給付費等
水道事業会計	554万4千円		7億6,193万9千円	メーター更新事業費等
病院事業会計	1,482万4千円		25億5,372万8千円	補償、補填及び賠償金等

可決された意見書

平成十七年第一回定例会市議会で可決した意見書は次のとおりです。これらは、内閣総理大臣、衆・参議院両院議長、関係大臣に送付しました。

- 第一号 北海道経済の活性化等を求める
第二号 発達障がい児(者)に対する支
意見書 援促進を求める意見書

予算審査特別委員会

三月二十八日(月)・二十九日(火)

十一会計予算案及び関係二議案を審議

平成十七年第一回定例会市議会三日目に付託された平成十七年度予算並びに関係議案について、次のとおり予算審査特別委員会において十分な審査を行い、委員

長よりいずれも原案のとおり可決すべきものと、本会議に報告されました。主な審議内容は次のとおりです。

付託された平成十七年度一般会計他十会計予算案と関係議案の計十三議案について、二日間 にわたって予算審査特別委員会(加藤喜和委員長)で審査を行いました。

初めに関係委員会に意見を求めた審査内容について、大綱的質疑が行われました。主な質疑項目は、観光事業予算計画、公共下水道対策、病院体制のあり方、総合計画、市町村合併問題、防災計画、滞納者問題等々行政全般にわたり十分な審査を行いました。

結果、一般会計・国民健康保険事業会計・老人保健医療事業会計・観光事業会計・介護保険事業会計・病院事業会計の予算案については賛成多数、市場事業会計・公共下水道事業会計・宅地造成事業会計・住宅管理事業会計・水道事業会計・非常勤の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正・市道路線の認定及び変更の五会計予算案と関係二議案については、全会一致をもって可決すべきものと決定されました。

大綱質問

平成17年3月15日(火)・16日(水)

財政問題について

質問(1) 平成十七年度の地方財政計画は、

答弁(1) 地方交付税は、十六年度の同水準を確保することができ、補助金の削減に伴う税源移譲でも財政力の弱い自治体に対して交付税による財源確保策も示された。

しかし、本市の普通交付税の算定にあたっては、人口の急減に対する緩和措置、産炭法失効後の緩和措置が、引き続き年次的に削減されている特殊事情にあり、更なる減額が見込まれる。また、特別交付税も同様である。

質問(2) 今後の地方財政計画のゆくえとその課題は。

答弁(2) 十八年度の地方財政計画も十六年度水準が維持されるものと思われるが、本市は引き続き交付税の減額が見込まれる。十九年度以降は、長期的に黒字化を目指す具体的方針から、地方財政計画及び地方交付税の削減につながるものにとらえて

いる。

よって、引き続き地方交付税を中心とした、より一層の地方財政の安定化を目指し関係団体

平成十七年第一回定例市議会における大綱質問者は、次のとおりです。

加藤 喜和議員(市民連合)
板谷 信男議員(高志会)
高橋 一太議員(民政クラブ)
大西ヨシ子議員(公明党)
熊谷 桂子議員(共産党)

の順で行われ、市理事者の考えをいただきました。

質問と答弁の主な内容は、次のとおりです。

と連携を深めたい。

道州制について

質問 道が行おうとしている「市町村への権限移譲」とは、

答弁 道が持つ千二百三件の事務事業のうち百九十一件と四百八件の権限のうち二千四十八件が移譲対象として、十八年度からの移譲を予定し、十七年度から各市町村に受け入れの可能性を照会することとなっている。

しかし、移譲される事務・権限が真に市民ニーズにあつた行政サービスかどうか、またそのサービスに応じた適正な財政的人的措置等が取られるかなど、十分見極めたうえでなければ移譲は受けられないものと考えている。

要 望 道から市町村への権限の移譲は、大切な内容であるが道民にあまり知らされていない。十七年度早々に各市町村に問い合わせるとのことだが、今、市町村合併問題で混乱している中、基礎的自治体のあり方がクリアーされていない中、町村会もその対応に苦慮している。道の一方的スケジュールで、市町村に移譲だけが進んでいくこと

は如何なものか。町村会と同様に、市長会と連携して道に対して要望したい。

シューパロダム問題について

質問 事業の進捗状況と、今後の早期完成へ向けた取り組みは。

答弁 進捗状況は、四十二・二%であり順調に進められている。十七年度予算として、七十三億三千万円が計上され、いよいよ念願であったダム本体に着手される見込みとなっている。

しかし、この建設予算確保については、国の公共事業の削減、三位一体改革など、大変厳しい状況であります。期成会等の要望活動の努力によるものであります。さらに一日も早いダム完成に向けて、これまで以上に関係機関等に対し積極的な要望活動に取り組みます。

財政問題について

質問(1) 交付税の減額等により、市長の財政運営基本姿勢に変更はないか。

答弁(1) あれもこれもから、あれこれかという基本方針を変更することなく、市民サービスの低下を極力抑えて、行財政の正常化に取り組んでまいります。

質問(2) 産炭法失効後の激減緩和策で何か優遇措置が受けられるか。

答弁(2) 普通交付税の産炭地補正が適用になっていたが、産炭地としての激減緩和措置は、年次の削減し、十八年度で終了することになっています。

道路問題について

質問 道央道と道東道の両高速道路を連結する道路建設の運動展開についての考えはどうか。

答弁 夕張インターチェンジと岩見沢インターチェンジを結ぶ主要幹線の道道整備が望まれており、道路改良と丁未・万字間のトンネル化を含む、通年通行化に向けて、関係方面に働きかけてまいります。

農業問題について

質問 農業後継者や新規就農者の誘致、定着支援などの具体策はあるか。

答弁 受入農家による栽培技術指導、経理・経営研修の実施、農地の斡旋、農業機械の指導と斡旋、農業定着支援資金、営農実習貸付金、就農設備融資、農地の賃借料補助など定着支援措置を実施しております。

観光問題について

質問(1) 観光入込客増加に向けて具体的な対策は立てているか
答弁(1) 市と石炭の歴史村が一体となった集客営業活動に力を入れてまいります。

各地の団体や、学校、老人クラブなどへの営業活動に力を注ぎ、集客に努めてまいります。

質問(2) 海外、特に東アジアへの誘客に向けての考えはどうか
答弁(2) 十六年度から、今年度にかけて台湾や韓国から数千人の入込客があり、現地の旅行代理店への働きかけや、札幌市で開催された中国、韓国への旅行商談会への参加など積極的な手を打ってきております。

本年一月には上海の旅行代理店が来タシ、ツアーの打ち合わせを行っており、上海からの旅行客も見込めるところであります。

また、二月の国際映画祭で韓国太田市から太田映画祭への招待を受けておりますので、参加することになった場合は、夕張への観光営業活動も行ってまいりたいと考えております。

教育問題について

質問(1) 夕張中学校廃校後の校舎の活用法についての考えは。

答弁(1) 当面は教育委員会が中心となって、その有効活用法を検討してまいります。市総合計画との整合性など、市全体として考えていかなければならないと判断しております。

質問(2) 生徒減による学校統廃合についての考えはどうか。

答弁(2) 十七年度の早い時期に、学校体制検討委員会を立ち上げ、小中学校の体制を検討してまいりる所存であります。

行財政正常化に伴う観光政策について

質問(1) 地域と連動した観光誘客対策の取り組みについては。

答弁(1) 地域振興に大きな役割を担う観光事業は、今後も重要施策のひとつとして位置づけており、地域を巻き込んだイベント等が重要であることから、地域と一体となった市民参画の観光事業推進を図っていきます。

質問(2) 今後の観光施設のあり方と今後の対策等については。

答弁(2) 行財政正常化の見直しに伴い、十七年度において、富野休憩所をはじめとする、六観

光施設の見直し・閉鎖等により、特に閉鎖する施設については、観光都市として、美観のイメージダウン・安全対策上の問題等十分配慮していきながら、地域・民間などへの活用の働きかけ等も、合わせて取り進めていきたいと考えています。

病院問題について

質問(1) 医師確保対策における今後の具体的取り組み方と考え方については。

答弁(1) 医師及び看護師確保が最優先課題であるとされており、北海道を始め、各関係機関への要請・専門誌への募集広告等、幅広く確保に向けて努めているところであります。

質問(2) 医師不足における今後の救急体制等の確立については。

答弁(2) 今後医師確保問題と併せ、救急体制については、大きな課題であり、常勤医の負担軽減、市民ニーズ等を踏まえ、どうあるべきか、医療対策プロジェクトにおいて検討してまいります。

市町村合併について

質問 新合併特例法に伴う、今後の取り組みと方向性について。

答弁 三位一体改革や権限移譲の流れの中で、基礎的自治体として生き残っていくためには、合併も一つの選択肢ではあるが、本市は、これまでも他の自治体との合併協議に入れないという状況で推移してきており、現段階では、「自立」か「合併」か言及できる状況ではありませんが、今後、新法の動きを見極めながら、検討していきたいと考えています。

福祉政策について

質問 本年度の具体的な指針については。

答弁 福祉制度各種の法律が改正することにより、今後、国及び道の制度改革による事業の見直しと本市が現在行っている福祉事業との整合性・在り方等を見直し検討を進めていきますが、現段階では、直接市民に影響を及ぼすものはないと承知しております。

教育行政執行方針について

質問(1) 国際交流事業の取り組み経過と今後の方針については。

答弁(1) これまで、英語指導助手による、幼稚園・小中学校での国際理解教育・交流活動等実

施してきたところでありますが、今後は、関係機関等とも協議をし、生徒・青少年を含めた新たな交流場面の設定等も検討してまいりたいと考えております。

質問(2) 幼児教育のあり方とユ一パ口幼稚園の今後の方向性については。

答弁(2) これまでも、幼保一元化を検討・論議を重ねてきたところであり、今後のユ一パ口幼稚園の方向性については大きく変わって来ると思われます。本年十二月議会までに、今後のユ一パ口幼稚園の方向性を取りまとめたいと考えております。

市政執行方針について

質問(1) 市政執行方針の基本的な姿勢については。

答弁(1) 本市における産炭地域振興臨時措置法の失効、地方交付税の総額抑制の動向など、多くの自治体が例外なく財政的に大変な状況に陥っている。財政の立て直しを最大最優先の課題に掲げ、行財政正常化対策を策定し、今まで取り進めてきた。

このことにより、市民にも少なからず、これまでの住民サービスクラスから後退せざるを得ない状況

にありましたことも事実であり

ますが、この中にあっては福祉・

医療・教育等に配慮し、市民生

活に直結する水道料、住宅料に

ついては引き上げを行わないな

ど、最大の配慮をした。地方

自治の原点は住民福祉の安定と

向上にある。厳しい財政状況で

あるが、市民生活の安定に向け

て努力を傾注していきたい。

質問(2) 総合計画の取り組みで

夕張のまちづくりに対する提言

をどう生かし反映するのか。

答弁(2) 短期間でまとめ上げて

いただいて深く感謝申し上げます。

四部門に区分され提案を受

けているので、現在所轄の意見

を取りまとめている。個々の提

言について、できるもの、でき

ないもの、短期的、中長期的に

検討していくもの等、十分考慮

に入れながら総合計画策定に取

り組む。また、まちづくり委員

会の皆さんの提言書への思いは、

その精神を生かしながら盛り込

んでまいります。

行財政正常化対策について

質問 支所、連絡所及び公共施

設等の見直しについて、市民に

ていくのか。

答弁 厳しい財政状況の中、事

務事業の見直し、職員の削減、

使用料、手数料の見直しなど、

取り組んできた。普通交付税の

大幅な減額に伴い、歳入に見合

った歳出規模へのさらなる対策

が必至。公共施設のあり方につ

いても、その役割必要性を考え

統廃合を含めて見直しを行うこ

ととしているが、実施に際して

は市民の理解と協力が不可欠。

地域懇談会も含めて、平成十七

年度中に検討したい。

防災対策について

質問(1) 災害時における公共施

設等の避難所の耐震化は。

答弁(1) 市の公共施設を災害時

避難所に指定しているのは二十

七箇所。新しい耐震基準により

建築された施設は十七箇所。そ

れ以前に建てられたものが十箇

所。施設の耐震化を図るには、

補助制度もなく、莫大な費用を

要する。今後の行財政全体の中

で検討します。

質問(2) 北電への送電システム

についての早期解決への取り組

みは。

長時間停電を受け、助役が北電

岩見沢支店を訪れ、送電システ

ムについて抜本的な対策を講ず

るよう、申し入れを行った。

新たな送電線を建設するには、

最低でも六億円以上の費用がか

かるので現状では難しい。機会

あるごとに、十分な対応策を検

討されるよう要請してまいりた

い。

観光問題について

質問 「北の零年」希望の杜事

業についての集客活動は。

答弁 道内主要都市の旅行代理

店と、問い合わせの多かった関

東、関西、九州圏の旅行代理店

への営業活動を実施したい。札

幌小樽等の高齢者団体、福祉団

体、町内会に対しても誘客活動

したい。

市立総合病院について

質問(1) 現時点の問題点と今後

の見直しは。

答弁(1) 問題点は医師・看護師

不足。現在、道をはじめとする

関係機関や地域振興財団への依

頼・登録などをし、小児科医を

含む医師確保に努力している。

質問(2) 待遇改善・住宅確保は。

看護師住宅は、医師住宅の転用

や、雇用促進住宅・官公庁の空

き住宅などを確保し、市内定住

促進を図りたい。

学童保育について

質問(1) 「子どもの安全・少子

化・次世代育成支援・定住促進

と学童保育とのかわりについ

て、どのように考えるか。

答弁(1) それぞれに学童保育が

必要と認識している。

質問(2) 三年生になると抽選で

入所、また、未設置の地域につ

いて今後どのようにするのか。

答弁(2) 重要と認識している。

引き続き検討、努力します。

ごみ問題について

質問(1) 現時点の問題点と具体

的な取り組み、今後の見直しは。

答弁(1) 富野埋め立て処分場の

使用年数を延長するため、ごみ

の減量化を図りたい。近年、ご

みは「燃やす・埋めるだけ」でな

く、発生させない、繰り返し使

用する、再利用する」など、町

内会や他市の取り組みなども参

考にしながらいかなる方法がい

いか考えをまとめ、減量化、再

資源化に取り組みたい。

答弁(2) 今後、広域処理などを

含めて積極的に考えていきたい。

支所・連絡所について

質問 現在の利用状況と市民の

ニーズ、本市の地理的条件・住

民の高齢化に照らして、本庁と

一支所体制に問題はないのか。

答弁 行政の根幹は財政の確立

職員も今後十年間で百人減らす

ことから、今後避けては通れな

い問題だ。やめた後の体制も含

めて、丁寧に対応し、地域懇談

会等で市民への理解を求めたい。

本庁と一支所を基本とし、移動

窓口、相談体制の確立を最重要

課題として検討していきます。

集会施設について

質問(1) 利用状況と市民のニ

ズについてどう考えるか。

答弁(1) 生活館等二十一施設で

昨年度は四千九百七十二件の利

用。葬儀等の地域行事に利用さ

れている。

質問(2) 統合・廃止には慎重さ

が求められる。地域住民の意向

をきき、合意を得る方策は。

答弁(2) 平成十七年度中にその

施設のあり方、利用状況、地域

格差などを踏まえ、役割や位置

づけを行い、閉館・廃止・存続・

譲渡などを検討するとともに、改修の必要性や管理運営面を含めて、総合的に見直しを行い、平成十八年度以降見直し結果に基づいて、実施していきたい。利用者、地域の理解・協力が必要と考えるので、支所・連絡所の問題も含め、議会でも、十分な論議を戴くことになろうかと思つ。ご理解いただきたい。

常任委員会の活動状況

平成十七年一月～三月

総務文教 常任委員会

第一回 一月十八日

出席五名

消防本部

火災の発生について

総務部

市民アンケート調査集計について

教育委員会

高校生アンケート調査集計について

教育委員会

子どもの健全育成サポートシステムに関する協定について

平成十七年夕張市成人祭について

平成十六年度進路状況について

特別収納強化月間及び年末特別徴収の結果について

特別収納強化月間及び年末特別徴収の結果について

特別徴収の結果について

特別徴収の結果について

特別徴収の結果について

特別徴収の結果について

特別徴収の結果について

特別徴収の結果について

消防本部

火災の発生について

救助出動の概要について

平成十六年中の火災、救急救助出動について

平成十六年中の火災、救急救助出動について

平成十六年中の緊急通報システムの運用状況について

消防団員の人事異動について

夕張市手数料条例の改正について

教育委員会

補正予算について

ユーパロ幼稚園の現状と今後のあり方について

集団かぜ発生状況について

大雪による臨時休校等について

空き校舎等の活用について

創作の館の廃止について

青年婦人会館の管理運営について

北海道こどもカルタ大会について

社会体育館の休止及び管理運営について

社会体育館の休止及び管理運営について

社会体育館の休止及び管理運営について

社会体育館の休止及び管理運営について

社会体育館の休止及び管理運営について

社会体育館の休止及び管理運営について

社会体育館の休止及び管理運営について

社会体育館の休止及び管理運営について

総務部

総合計画について

ゆづばりまちづくり委員会の提言について

まちづくりアンケート調査について

夕張市過疎地域自立促進市町村計画について

旧緑ヶ丘実業高等学校敷地の無償譲渡について

北海道電子自治体プラットフォーム(HARP)構想及び市町村電子申請について

補正予算について

財政部

平成十六年度普通交付税の追加交付決定について

補正予算について

市税条例の一部改正について

専決処分等の予定について

収納対策の今後の取組みについて

第三回一日目 三月十七日

出席五名

財政部

平成十六年度特別交付税の決定について

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

議案第六号 平成十七年度夕張市宅地造成事業会計予算

議案第二十号 非常勤の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

第三回二日目 三月十八日

出席五名

教育委員会

平成十七年度教職員人事異動状況について

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

協議事項

夕張シューパロダム一次転流工通水式
平成17年3月25日



建設経済 常任委員会

第一回 一月二十日 出席六名

建設水道部

特別収納強化月間及びび年末特別徴収の結果について

平成十六年度降雪量及び排雪

出動状況について

平成十六年度本町土地地区画整理事業進捗状況について

観光対策本部

ゆうばり国際映画祭二〇〇五

について

石炭博物館の冬期特別企画について

郷愁の丘ミュージアム新春企画展示について

「北の零年」先行上映の結果

について

産業経済部

平成十六年度市有林事業について

夕張卸売市場の売り上げ状況について

誘致企業等における新卒採用

予定について

第二回 二月十八日 出席六名

観光対策本部

ゆうばり国際映画祭二〇〇五

について

国際映画祭期間中の石炭博物館等の企画について

観光施設のメンテナンス休憩について

「北の零年」ロケセットの除雪について

NHKテレビお天気カメラの設置について

第三回 三月一日 出席六名

建設水道部

平成十六年度夕張市一般会計

補正予算について

平成十六年度夕張市住宅管理

事業会計補正予算について

平成十六年度夕張市水道事業

会計補正予算について

平成十六年度専決処分報告

について

平成十六年度都市計画マスター

プランの進捗状況について

夕張シューパロダム付替国道

四五二号新設橋梁の命名について

平成十六年度降雪量及び除雪

出動回数について

水質検査計画の公表について

市営住宅政策空家に伴う除去・

移転・入居修繕計画について

産業経済部

夕張市農業委員会委員及び職員

定数条例の一部改正について

観光対策本部

平成十六年度夕張市一般会計

補正予算について

平成十六年度夕張市観光事業

会計補正予算について

夕張市観光施設設置条例の一部改正について

ゆうばり国際映画祭二〇〇五

受賞作品等について

長いも焼酎「琥珀乃鼻」出荷

休止について

第四回一日目 三月十八日

産業経済部

自然豊かな「故郷ゆうばり」

再生のための植栽による景観

整備計画について

(株)夕張卸売市場の営業報告等

について

新年度事業の概要について

協議事項

協議案第一号 平成十七年度夕張

市一般会計予算中関係部分

市市場事業会計予算

観光対策本部

マウントレースイのメンテナンス

スレックスについて

長いも焼酎「琥珀乃鼻」等の

製造・出荷状況について

四月の「郷愁の丘ミュージアム」

企画について

映画「北の零年」ロケセット

活用事業について

マウンテンシティ実施機構に

ついて

主な観光施設の運営内容の変更

について

観光施設の整備計画について

(株)石炭の歴史村観光の電算シ

ステムリスに対する損失補償

について

協議事項

協議案第一号 平成十七年度夕張

市一般会計予算中関係部分

協議案第七号 平成十七年度夕張

市観光事業会計予算

第四回二日目 三月二十二日

建設水道部

平成十七年度夕張本町土地

区

画整理事業について

平成十七年度工事概要につ

いて

協議事項

協議案第一号 平成十七年度夕張

市一般会計予算中関係部分

協議案第五号 平成十七年度夕張

市公共下水道事業会計予算

協議案第八号 平成十七年度夕張

市住宅管理事業会計予算

協議案第十号 平成十七年度夕張

市水道事業会計予算

協議案第二十六号 市道路線の認

定及び変更について

観光対策本部

二〇〇五年新規ワイン企画書

について

各部ごと予算審査特別委員会

から意見を求められた議案に

ついて慎重に審査した。

新しく開設した

グループホーム「まどか」



8

厚生 常任委員会

第一回 三月三日 出席六名

市民福祉部

次世代育成支援行動計画(案)について

医療対策プロジェクトについて

JRダイヤ改正について
補正予算について

市立総合病院
平成十六年度病院事業会計について

(1)平成十六年度病院事業会計
決算見込

(2)平成十六年度決算見込と平
成十五年度決算対比

(3)平成十六年度病院事業会計
補正予算調書

専決処分について
特別収納強化月間の結果につ
いて

第二回一日目 三月十七日
出席五名

市民福祉部
社会福祉施設水道使用料金の

軽減について

シルバー専用住宅の入居受付
について

認知症高齢者グループホーム
の開設について

連休中のごみ収集及び大型ご
みの収集について

協議事項

議案第一号 平成十七年度夕張
市一般会計予算中関係部分

議案第二号 平成十七年度夕張
市国民健康保険事業会計予算

議案第四号 平成十七年度夕張
市老人保健医療事業会計予算

議案第九号 平成十七年度夕張
市介護保険事業会計予算

議案第二十号 非常勤の委員等
の報酬及び費用弁償に関する条
例の一部改正について

第二回二日目 三月十八日
出席六名

市立総合病院
四月の診療体制について

協議事項
議案第十一号 平成十七年度夕
張市病院事業会計予算

各部ごと予算審査特別委員会
から意見を求められた議案に
ついて慎重に審査した。

特別委員会活動報告

ダム、道路開発特別委員会より第一回定例市議会に、シュー
パロダムの建設に関する事項及び国道・道路の建設促進の開発
に関し、必要な調査、検討を行った経過並びに結果について、
次のとおり報告がありました。

ダム・道路開発特別委員会の調
査中間報告について

現地調査について
次の箇所を現地視察し、関係
者から概要説明を受け意見の交
換を行いました。

開催年月日 平成十六年十一月
二十二日

調査地 夕張シューパロダ
ム建設工事現地

出席委員数 十一名

参加参与建設水道部長、次長等
調査結果について

夕張シューパロダム建設工事
進捗状況について

北海道開発局石狩川開発建
設部夕張シューパロダム総合
建設事務所において、夕張シ
ューパロダム建設事業の概要
説明を受け、意見の交換を行
いました。

その後、付替道道夕張新得
対策を行う。

線第一号トンネルを視察した
後、大夕張ダム堰堤より、夕
張シューパロダム左岸仮排水
路工事を視察し、次に付替国
道四五二号三号橋工事の視察
を行いました。

第三回 十二月二十四日
出席委員数 十一名
主な理事者説明
市内小中学校夕張シューパロ
ダム見学後のアンケート調査
について

国道四五二号付替道路(仮称)
大夕張トンネル掘削工事の概
要について

工事期間については、平成
十六年十月二日から平成二十
一年三月十三日。請負額は、
四十三億八千九百万円。トン
ネル延長は二・三キロメー
トルで防音施設を設置し環境
対策を行う。

主要道道札幌夕張線道路改良
工事の進捗状況について

地すべり対策工事(錦沢区
間)については、期間が平成
十六年十月十九日から平成十
七年三月二十五日。事業費は
四億円。平成十九年度完成予
定。

道道夕張岩見沢線「平和」清
水沢」改良工事の進捗状況に
ついて

ふとん籠除去及び法面落石
防護工事については、平成十
七年一月十一日から三月三十
日。事業費は、四千二百万円。
工事延長、約五十メートルで、
内容は実施計画、法面詳細設
計、擁壁詳細設計地すべり観
測等。平成十九年度完成予定。

石狩東部地域広域的水道整備
計画の改定について

高速道路「市内工事」に関す
る進捗状況について

(1)楓地区地すべり対策工事
(2)鶴亀の沢川橋下部工事
(3)鶴亀の沢川橋上部工事
(4)紅葉山工事

(5)その他民地部用地買収等、
理事者から説明があまりし
た。

主な質疑等

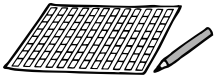
道道夕張岩見沢線「平和・清水沢」改良工事の進捗状況について、十九年度完成予定という報告であり、二年工事が遅れている。災害等の場合、夕張は一本の道路で繋がっており、そこが寸断されると、地理的な問題が生じ、災害復旧の面で大きな障害となる。今後、これ以上遅れないよう要望したいとの意見が出されました。理事者側からは、実際に、当初予定から二年遅れており、北海道に確認したところ、昨年の十勝沖地震の関係で若干動いたため、今年度は、分析、解析さらに調査をして、それを講じた工事を検討していくという状況が一年くらいかかっており、解析が出た時点で、対策工事をしていくとのこと。

何かやりとりがあったのか、知りたいとの意見が出されました。理事者側からは、未開通部分については、旭川空港に近いところで、約十二・九メートルある。道内要望、中央要望と行っているが、その中で論議されているのが、この未開通部分を真っ直ぐやるか、他の路線でやるかについてである。計画通りにやるとすると、何十億円の負担がかかることや、変更が生じる可能性もあり、路線を変える事も含め検討しているようである。ただ国道四五二号については、旭川空港に繋がなければ意味がないので、路線を変える事を含め、早期に着工していただきたいという流れになっている旨報告がされました。

次に道道夕張長沼線に関し、延長問題、交差点の跨線橋の改良などについて質問が出されたが、現在夕張市内の道道の事業については、道道札幌夕張線の内股峠及び道道夕張岩見沢線の平和清水沢間が、重要整備路線とされ、この二路線に投資が重点配分されている状況にあるもの、十九年度完成予定となり、

当初より完成予定が遅れているが、次には道道夕張長沼線の整備促進を要望していききたいとの考え方を示しました。

編集後記



今年春になっても、雪が舞う日がありましたが、間もなく桜の季節がやってきますね。

さて、最近議員全員で、ホテルの勉強会を行いました。

昔は、夕張でもずいぶんホテルが見られましたが、最近は滅多に見られなくなりました。

ホテルは、日本人のもつ情緒にあつていて、古くから夏の風物詩として親しまれています。

しかし、現代では虫の嫌いな人が意外に多く、特に最近の子供は野外で遊ぶ機会が少なく、

極端に虫を毛嫌いする傾向が見られるようですが、昆虫は観察

眼や研究心を養うのには恰好の自然科学の素材だという事です。

北海道には生息していないと言われるゲンジボタルは、ヘイケボタルに比べて、身体の大き

さが一・五倍から二倍あり、その分光も明るく、しかも一斉に発生するので見ごたえがあると

言われています。また、ホテル

お詫びと訂正

第四十七号三頁の決算審査特別委員会の中で印刷ミスにより最後の一行が抜けていました。ここにお詫びして訂正いたします。抜けていた最終行を行う措置を講じました。

編集委員

委員長 田口久一
副委員長 高橋一太
委員 板谷信男
委員 大西ヨシ子

ご意見・ご感想をお寄せください。
ご意見の連絡・送付先
夕張市議会事務局
本町四丁目 ☎ 五二 三二七二

議会目録

平成17年3月～4月

3月

- 4日 南空知ふるさと市町村圏組合議会
- 4日 議会運営委員会
- 7日 第1回定例市議会(31日まで)
- 28日 予算審査特別委員会(29日まで)

4月

- 5日 議会だより編集委員会
- 7日 全国市議会議長会道南支部議長会議
- 12日 議会だより編集委員会
- 27日 北海道市議会議長会定期総会
- 28日 北海道市議会議長会産炭地域振興協議会定期総会